

**答** 教材研究の効率化、授業の質の向上等、多くの効果を期待できるが、完全実施するには、小学校の教職員定数、専門の教科免許を持つ教員数の絶対的な不足が課題である。今後も教職員定数の拡大を訴え続け、小学校の教科担任制の充実を図り、子どもと向き合う教師の時間確保につなげていきたい。

**問** 市の業務へのRPA導入の考えは。

**答** RPAは、業務プロセスを自動化できる仕組みのことで、現在、実証実験に向けて研究中である。既に本格運用を行っている先進自治体の導入効果や課題を学び、スモールスタートから計画的に拡大を図っていく。

青山義明（自民党市議員）

交差点の防護柵について

**問** 市内の市道、県道の交差点に防護柵がない箇所はいくつあるか。そのうち、設置可能な箇所は。



交差点に設置された防護柵

**答** 市内の幹線道路の交差点のうち、防護柵のない交差点は39カ所で、そのうち20カ所が設置可能である。

**問** 防護柵が設置可能な交差点について、今後の予定は。また、設置困難な19カ所の対策は。

**答** 市が管理する交差点11カ所については、6月定例会で補正予算を追加提案し、設置していく予定である。

県が管理する9カ所は、防護柵などの安全対策について強く要望していく。

また、防護柵の設置困難な箇所は、車止めやカラー舗装による注意喚起など対策を検討していく。

竹内滋泰（自民党市議員）

投票率の向上について

**問** 参院選、市長選に向けての投票率向上策は。

**答** 市内小中学校を対象にした選挙出前トーク、期日前投票期間中の防災行政無線での放送や駅前での啓発活動に引き続き取り組んでいく。また、参院選、市長選に向けてではないが、今回の統一地方選までに期日前投票所の複数箇所の設置を検討していきたい。

公共施設マネジメントについて

**問** 蒲郡南地区、三谷地区の地区個別計画はいっ策定されるか。

**答** 地区内の複数の小学校の配置について様々な意見をいただいている。教育委員会とも連携を密にし、

慎重に検討していきたい。明確な時期は示せない。

柴田安彦（無会派）

償却資産税の申告漏れについて

**問** 過去に税務課内部から課税漏れを是正する動きがあったが、上層部が難色を示し、その機会を失ったとの情報を得た。

市は調査をし、過去の経緯を明らかにすべきではないか。

**答** 今すべきことは公平な課税に向けた取り組みであり、過去の経緯を調査する考えはない。

**問** 過料を科さない前例をつくれれば、指摘を受けるまで申告をしないほうが有利となり、申告者は減るのではないか。

**答** 今回の事案は、市が償却資産制度について十分な周知と申告を促してこなかったことが原因の一つと考えている。

今後は制度の周知、不申告を見逃さない調査、申告の勧奨を徹底する。

大場康議（自民党市議員）

農業用ビニールハウス等の償却資産調査と課税について

**問** 徴税責任者としての市の考え方は。

**答** 今回の償却資産の申告漏れは、市と納税者双方の償却資産制度への認知度不足によるものだと反省しており、今後は公平・公正な課税に努めていく。

なお、農業振興の観点に立ち、今後何らかの方策を検討し、実施していきたい。

